

国語科 小学校 6年

単元名 作家と作品をかかわらせて読もう
「宮沢賢治」(伝記)
東京書籍 「新しい国語六年下」(旧版)

単元の流れ (全14時間)

【第1次】第1時～第4時

主な学習内容

- ◇第1時 単元の学習のめあてを知る。
分かりにくい言葉の意味を調べる。
- ◇第2時 初発の感想を書き、交流する。
- ◇第3時 賢治の生涯を年表にまとめる。
- ◇第4時 賢治の願いや理想についてまとめる。

【第2次】第5時～第11時

主な学習内容

- ◇第5時 賢治の作品を、登場人物の行動や主題などについて比べながら読む。
- ◇第6時 作品に込められた賢治の願いや理想について話し合う。
- ◇第7～9時 グループごとに「作品の中に生きる賢治の願いや理想」というテーマで資料を作る。
- ◇第10・11時 グループごとにポスターセッションの練習をする。

【第3次】第12時～第14時

主な学習内容

- ◇第12・13時 ポスターセッションをする。
(本時12・13)
- ◇第14時 ポスターセッションの感想を書き交流する。

単元目標

- 本や文章を比べて読み、自分の考えを持つ。
- 考えたことや伝えたいことから話題を決め、作品の内容と関係付けて感想などを話す。

単元構成の意図

第1次では、宮沢賢治の伝記を読み、賢治の献身的な生き方、自ら農民として生き、また農民のために生きながら詩や童話を書き続けた生涯、その行動や考え方・理想について読み取る。

第2次では、登場人物の行動、主題について賢治の2作品を比較しながら読み、作品に込められた賢治の願いや理想についてグループで話し合う。この話し合いを基に、グループごとに「作品の中に生きる賢治の願いや理想」というテーマで資料を作り、ポスターセッションの準備をする。

第3次では、グループで作成した資料を使ってポスターセッションをする。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 表現方法、中心人物の行動や考え方、作品の主題、構成など、賢治の作品の共通点を見つけながら比較して読み、読み取った主題をまとめる。物語の因果関係をつかみ、根拠を基に自分の考えを持てるようにする。
- ② 宮沢賢治について調べてわかったことと作品を読んだ感想や意見を区別して伝えるとともに、聞き手を引きつける効果的な表現を工夫しながら話す力をつける。

HOME

本時の流れへ